

JCHO群馬中央病院で診療を受けられる皆さまへ

2017年5月17日

当院の診療で得られた試料・情報を利用して下記の研究を実施いたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない方は、下記の問合せ先にご連絡下さい。患者さまの情報を利用または他機関へ提供しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

また、情報の利用を希望されない場合でも、今後の治療などに影響することはありません。この研究に関してご質問等ございましたら下記連絡先までご連絡ください。

この調査研究は JCHO 群馬中央病院倫理審査委員会にて審査され、病院長の承認を受けて行われます。

① 研究計画名	リバスチグミン貼付剤は食事の経口摂取量を増やすか？		
② 研究責任者	氏名	大熊 範和	所属 薬剤部
③ 研究の目的・意義	認知症高齢者の衰弱は栄養との関連が強いため、リバスチグミン貼付剤が食事摂取量に与える影響を明らかにすることにより認知症薬物療法を選択するための情報のひとつになる。		
④ 研究期間	倫理審査承認後～2018年3月31日		
⑤ 対象となる患者さま	2013年4月1日～2017年3月31日の期間に入院中リバスチグミン貼付剤が開始となった患者さま		
⑥ 利用する情報	電子カルテより以下の情報を利用します。 【年齢、性別、リバスチグミン開始前後の食事摂取量・増量後の食事摂取量、リバスチグミン開始前の使用認知症治療薬の種類】		
⑦ 利用する者の範囲	上記の情報は、群馬中央病院にて研究責任者が利用し、その他の機関への提供はする事はありません。		
⑧ 情報の管理	使用する情報は、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報の匿名化、情報の保管に関しては研究責任者が責任を持って厳重に管理いたします。 また、研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、その際にも個人を特定することのできる情報が公表されることはありません。		
⑨ 研究対象者、又はその代理人の方からの相談等への対応窓口	対応者氏名	大熊 範和	所属 薬剤部
	TEL	027-221-8165 (代表)	